



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.10
六甲おろし 今昔物語
/近藤 浩文
2004年1月発行

第10回テーマ：六甲おろし ～今昔物語～



暖炉を囲んで

講演内容

- ①現在の六甲おろし
 - ・阪神タイガース応援歌考
- ②古典から見る六甲山系
 - ・百人一首他
 - ・黄葉するネザサ
- ③六甲山の植物

実施日：平成16年1月17日（土）
午後1時～3時40分
場 所：六甲山YMCA 里見ホール



講師：近藤 浩文さん
こんどう ひろぶみ

プロフィール

昭和6年 神戸市魚崎生まれ
昭和27年神戸大学教育学部
卒業、京都大学植物学教室で
研修。環境カウンセラー（環
境省）、兵庫県環境審議会委
員、兵庫県自然保護指導員

今年一番の大雪に恵まれた！？

セミナーの前夜からどんどんと冷え込み、翌日の積雪の対応に苦慮しました。天気予報の通り、六甲山は一面雪景色となりました。25名の熱心な参加者が揃い、「雪の六甲山はすばらしい」と異口同音に感激。「よくぞ皆さん来てくれました」と、スタッフ一同も感謝の気持ちでいっぱい。最高の雪景色と参加者に恵まれた一日になりました。



里見ホールのテラスで雪だるまづくり

近藤さんの軽妙な語り口

阪神大震災の9周年の日ということで、全員で1分間の黙とうを捧げ、講演へと進みました。

スピーカーの近藤浩文さんは植物学を専門とされ、六甲山通として有名な方です。また、環境保全活動に対する助言などを行う環境カウンセラーとしても活躍されています。震災、阪神タイガース、六甲おろし、和歌、笹、六甲山の植物など幅広い知識と話題を紹介していただきました。

特に植物については、もっとご紹介いただきたいのですが、時間切れとなりました。近藤さんの軽妙な話しぶりに魅せられ、含蓄と専門知識の豊かさに引き込まれた1時間余りでした。

六甲山の思いを新たにしました

講演の質疑応答に入る前に休憩をしました。里見ホールの暖炉を囲んだり、窓の外に雪景色を眺めたりしてくつろぎました。新年で特別に用意した、おしるこ、甘酒等も味わっていただきました。

終盤の懇談会では、それぞれが自己紹介をしながら六甲山についての思いや魅力など語り、六甲山への愛着を一層強めました。熱心な聞き手に集まっただき、また当日入会していただいた方もおられ、この市民セミナーが着実に歩んでいると実感しました。

※詳しくは1～2ページをお読みください。

参加の感想 あけびグループ 中務勝子さん

六甲山上は一面の銀世界。部屋の中は赤々と暖炉の火、窓の外は降りしきる白い雪とまるで別世界でした。平安時代の和歌の中にも六甲嵐が詠まれていて、1000～1200年前から六甲嵐を肌で感じて使っていた等、和歌の中に詠まれている笹や植物などの見本を手にとりながら、名前の由来や種類などユーモアたっぷりのお話に、私達もつつこみをいれたり、ボケたりと参加者と先生と一体化し、あっという間に時間が過ぎ、六甲山の冬の楽しさ、美しさ、厳しさを感じた一日でした。

主催：六甲山自然保護センターを活用する会
後援：兵庫県神戸県民局 兵庫県立人と自然の博物館
灘区役所